

# カラスなどによるごみ散乱を防止するためのポイント

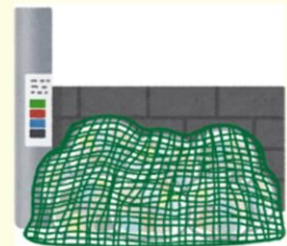
カラスは賢く、学習能力に優れた生き物です。一度エサがあると認識した場所は、繰り返しエサをあさる習性があります。

また、カラスは嗅覚が鈍く、視覚に優れているため、生ごみなどが「見える」と「エサがある」と認識し、集積所が荒らされる原因になります。

このため、生ごみなどを「見せない」、見えても「つつかせない」ことがカラスによるごみ散乱を防止するために必要です。

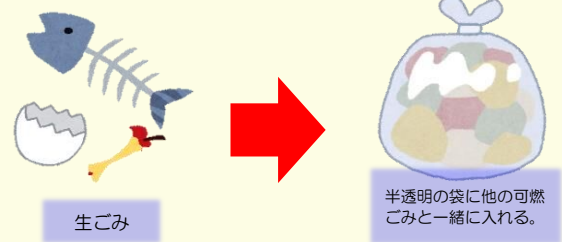
## 1. ごみ飛散防止用ネット(カラス除けネット)でごみをしっかり覆いましょう。

- ①カラスがごみをつついて中身が散乱しないように、カラス除けネットでしっかりと覆いましょう。
- ②カラス除けネットに重石(水を入れた2ℓのペットボトルなどで代用可)を括り付け、簡単に隙間ができないようにしましょう。
- ③カラス除けネットを二重に被せて、重さを増し、カラスが簡単にめくれないようにしましょう。



## 2. ごみが、外から見えないうにしましょう。

生ごみなどがごみ袋の外から見えるように排出され、簡単につついて出すことができる状態は、カラスに狙われやすいです。このため、生ごみなどは、ビニール袋で覆い、外からは見えないようにして、ごみ袋に入れましょう。



## 3. 決められたルールに基づいて、ごみを出しましょう。

収集日の前日や夜間にごみを出すと、カラスにエサを探す時間を与えることとなります。このため、集積所にごみを出す時はルールに基づいて、「決められた収集日の朝、8時までに」集積所に出すようにしましょう。



ごみの分別や出し方は、ごみ収集カレンダーやごみ分別アプリをご覧ください。アプリのダウンロードは、次の二次元コードからできます。

